

トルコ産柑橘類が需要を回復

EUROFRUIT 2023年10月30日

南アフリカとスペインの出荷量が少ないため、トルコ産オレンジへの関心が急速に高まっており、レモンの需要も同様である。トルコの輸出業者アクスン社の共同経営者であるエスラ・ソレイエン氏によると、今シーズンはトルコ産オレンジの需要が異常に高く、ヨーロッパ最大の生産国であるスペインでも需要がある。同氏は、「オレンジが不足しており、皆が欲しがっている」と言う。

同氏は、ヨーロッパだけでなく、あらゆる場所で販売の可能性が高いと見ており、「信じられないくらいの需要だ。これは普通ではない。通常、スペインには多くのオレンジがあり、フランスやイタリアは大生産国だ。ギリシャ産やエジプト産もかなり安いので、トルコ産の出番はない。普段はほとんどの生産物がロシアに送られる」と語った。同氏はまた、近年、ヨーロッパ市場の見通しが絶望的に見えたため、トルコの生産者らは木を切り始めていたが、今年は良い稼ぎになったので、再投資することができるだろうと述べた。

供給不足は、主に主要生産国の天候の問題に起因しており、特に南アフリカで影響が大きい。トルコの生産・輸出業者アナドルエタップ社のアイセル・オウズ氏は「もはやどの輸出国も安定しているとは思えない」と言い、「気候変動は、トルコ、アフリカ、南半球全体のあらゆる人に影響を与えており、すべての供給者に何らかの形で影響を及ぼしている。それにより供給国ごとの出荷時期が変化している。南アフリカも今シーズンはレモンが不足しているため、出荷が早めに止まり、市場では品不足で引き合いが強くなっている」と述べた。

これは、トルコがレモン市場で南アフリカとスペインからの大きな圧力に直面していた近年の様子とは異なる。オウズ氏は、「毎年状況が変わる。昨年は南アフリカ産レモンの圧力を感じたが、今年は違った。エジプトも品質と農薬基準への適合の面で良い取組みをしており、今後レモンやオレンジなど柑橘類で強力な競争相手になると思う。もちろん、値段の面でもだ」と語った。

南アフリカ産の供給が不足しているため、同氏はアジア市場にもチャンスを見出している。同氏は、「香港、シンガポール、マレーシアの多くの取引先から、トルコ産レモンに適した出荷時期があるとされている」と話す。また、ヨーロッパの多くの小売業者は、スペインへの依存度を下げるためにトルコに目を向けている。価格への影響については、少なくとも今年はトルコの生産者は安心できるかもしれない。

執筆者: トム・ジョイス

ニュージーランド グリーンキウイフルーツの梱包費を値下げ

FreshPlaza 2023年10月31日

タウランガ市にある世界最大級の収穫後処理施設は、ニュージーランドのキウイフルーツ産業をさらに後押しするため、グリーンキウイの包装費を引き下げる。この値下げは、マウントパックアンドクール社(Mpac)の先見の明と5年にわたる投資事業によって可能となった。この事業によって整備されたタウリコ地区の新しい拠点は、自動化、合理化、効率化のモデルとなった。

Mpacのブレンドン・リー社長は、「2017年に白紙の状態から始め、この土地を購入し、効率を最適化するための究極の収穫後処理施設を設計・建設したことでこれを実現できた。この投資とその成果である本事業は、グリーンキウイの生産者を支援するためのこの重要な取組みが今や実施できることを意味し、それは苦境に立たされているこの品種を再活性化するために必要であると考えている」と話す。(以下は同社長の発言)

「グリーンキウイの梱包は、ゴールドキウイの梱包費用を低減する。それは簡単なことだ。グリーンにとって良いことは、ゴールドと業界全体にとっても良いことだ。ゴールドの後の3月から6月までのグリーンの梱包期間がなければ、ゴールドの収穫後のコストは2倍になり、業界のゴールド部門にとって負担になるだろう。」

「Mpacでは、グリーンキウイの未来を見据えている。グリーンは依然として世界中で需要があり、必要なことは、生産者に競争力のある優れたサービスと梱包価格を提供し、商業的に成立する状態を維持することである。グリーンキウイはキウイフルーツの品揃えの重要な構成要素である。」

出典: sunlive.co.nz